

3. 館別独自項目チェックリスト

自然の博物館

評価基準

| | |
|-----------------------|---|
| 完了または順調に進捗していて問題がない状態 | A |
| 着手状態乃至課題が残されている状態 | B |
| 未着手状態 | C |

| 項目 | チェック内容 | | 評価(A~C) | 備考 |
|-----------------|--------|---|---------|------------------------|
| 存資・料の管理 | ① | 提供・寄贈された資料を適切に管理しているか | A | 収蔵資料管理要項 |
| | ② | 手順に基づいて適切に標本化しているか | A | 事業計画「資料収集整理事業」 |
| 業常の設展実施 | ① | 適宜展示の更新を行っているか | A | 企画展時に更新(7・9月) |
| | ② | わかりやすく楽しめる工夫を行っているか | A | 博物館クイズの実施 |
| 展特事業の企画 | ① | 中・長期的な展示計画を策定し特別展・企画展を実施しているか | A | 5か年計画を策定 |
| | ② | 幅広い年齢層やニーズを持った来館者が楽しめる内容になっているか | A | 館内展示クイズ、おしゃべりマイマイ |
| | ③ | 従来の資料のほか新しい資料や借用資料など広い範囲の資料を活用しているか | A | 県内外の専門機関や地元関係者との連携 |
| 学習支援事業 | ① | 自然体験を通じて自然を学ぶプログラムを取り入れているか | A | 多くが体験型 |
| | ② | 実物資料を十分に活用したプログラムとなっているか | A | 自然のままを観察する |
| | ③ | 高い専門性を求める県民のニーズにこたえられるプログラムを実施しているか | A | アドバンスドコースを設置 |
| | ④ | 博物館や周辺の自然を活用したプログラムを公開しているか | A | HP、ミュージアムカレンダー |
| | ⑤ | 様々な高等教育への寄与を行っているか | A | 大学にも対応 |
| | ⑥ | 理科教育・科学教育に携わる指導者向けの支援・育成プログラムを実施しているか | A | 教員のための博物館の日、その他教員研修の受入 |
| て中県の核内活動施設とし博物館 | ① | 県内外の博物館等の自然科学系分野の活動に協力しているか | A | NORNACやG BIFなど |
| | ② | 展示・企画に協力しているか | A | 共催展や展示相談 |
| | ③ | 講師派遣を行っているか | A | 先方の要請に基づいて実施 |
| | ④ | 資料貸し出しを行っているか | A | 展示・研修等へ貸出 |
| シンクタンク機能の発揮 | ① | 職員の専門分野に関する情報を公開するとともに、専門的な知識を要望に応じて提供しているか | A | 館内、HPで提供 |
| | ② | 地方自治体や各種組織の構成員として、専門的な立場での社会貢献を行っているか | A | 県や各種組織などの委員 |
| | ③ | 全国の自然系博物館と情報交換等を通して交流しているか | A | 科博S-netや個別の情報交換 |
| | ④ | 学会、研究会等の活動に寄与しているか | A | 会場提供講師派遣 |
| | ⑤ | ジオパーク秩父における拠点施設としての役割を果たしているか | A | 運営委員 |
| | ⑥ | 外部研究者・市民科学者への指導・助言、あるいは共同研究を行っているか | A | 外部研究者への助言や共同研究 |
| | ⑦ | 県内の自然史に必要な過去(現在・将来を含む)の研究資料を収集・完備し、その保存に当たるとともに、館内外の研究者に提供するための努力をしているか | A | 動物研通信、寄せ紙記など |
| 顔の見える博物館化 | ① | レファレンスに丁寧にこたえているか | A | 手紙、メール、電話、来館に対応 |
| | ② | 学芸員の専門性を広く県民に公開しているか。 | A | HP、館内掲示など |